ポストゲノム　概要

目標

ライフサイエンス分野のうち、新興・再興感染症以外のほぼ全ての研究領域に関わるため、本連携群会合を、連携強化と重複排除の観点から行う対象施策の精査に留まらず、各領域の専門家および関係府省の担当官がライフサイエンス分野各領域の今後の方向性について意見交換を行い認識統一を図る場とする

これまでの活動

1) 連携強化と重複排除の観点から各省の対象施策を精査（H17年度分はH17年7－8月、H18年度分はH18年5－8月に精査）した結果、一層の連携が必要な部分は認められたが、不必要な重複はないことを確認した

2) 補完的課題として、「生命科学データベース統合に関する調査研究」（H17年度。採択1件）、及び「持続的食物生産のための生物間相互作用の解析研究」（H18年度。採択0件）を選定し、公募した

3) 各省の平成19年度概算要求の方向性を統一すべく、戦略重点科学技術の俯瞰図素案を作成した

主な成果

1) 計40回に及ぶ大小の会合開催を通して、有識者メンバー及び全関係省担当官がライフサイエンス分野の課題を整理し、今後の方向性について認識統一する体制を構築した

2) 補完的課題の研究により、生命科学分野のデータベースの現状等、データベース統合化の方策立案のための基礎資料を取得し、それを踏まえて関係省に関連施策の平成19年度概算要求へ反映させた

3) 戦略重点科学技術毎の全体俯瞰図素案作成を通して、今後の研究開発の方向性について関係府省間の認識の統一を図るとともに連携強化を推進し、各省の平成19年度概算要求へ反映させた

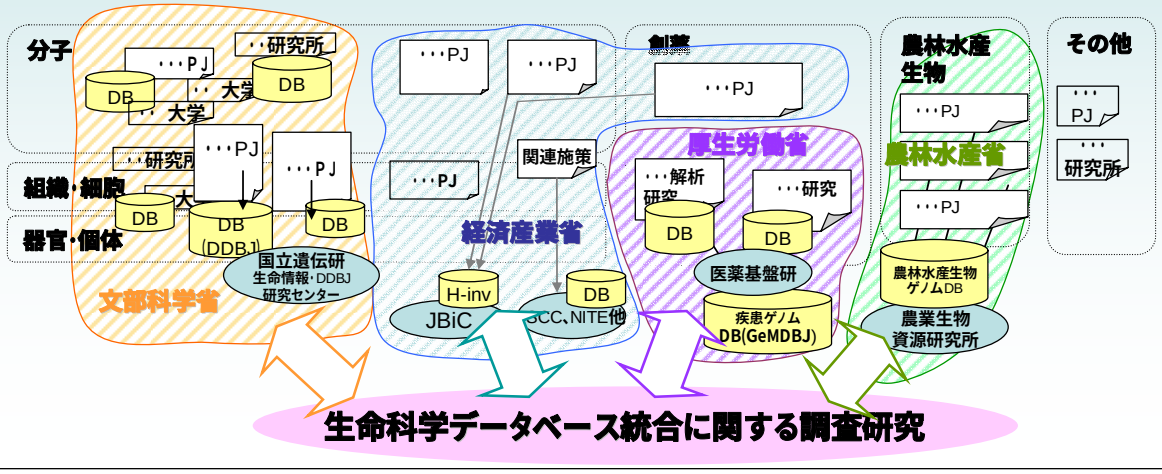
今後の課題

本連携施策群で抽出された連携強化すべき点、補完的に実施すべき点について、ライフサイエンス分野推進戦略に沿った形で順次連携強化あるいは補完的実施を加速していく必要がある

ポストゲノム　具体的成果事例

「生命科学データベース統合に関する調査研究」

目的：各省、各研究機関ごとに散在する、生命科学に関するデータ及びそのデータベースを統合し、生命科学の研究開発基盤を強化すること

関係省：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省

成果：1) 関係省協力のもとに調査研究を開始
2) 生命科学分野における国内の主要データベースの現状（数［250個］、型［6種］、アクセス数等）を把握
3) データベース統合化の技術的課題の抽出に着手